

平成 29 年度 市民のための図書館教養講座

主催：伊勢原市立図書館 共催：東海大学付属図書館

村上春樹の 本当の怖さ ご存知ですか？

なぜ、これほど読まれ続けるのか。

その理由の核心部分を、わかりやすく掘削してみたいと思います。
春樹をまだ読んでいない人にはよき読書案内となるように、
ハルキストのみなさんには、ああ、そうだったのか、と納得のいく
解説になるように、お話しいたします。



日時 平成 29 年 11 月 25 日 (土)
午後 2 時～3 時 30 分 (開場 1 時 30 分)
場所 伊勢原市立図書館
2 階 AV ホール

参加費無料

定員：60 名 (申し込み順)
申込：10 月 1 日 (日) 午前 9 時から
電話または 1 階レファレンスカウンター
にて受付開始

伊勢原市立図書館

〒259-1142 伊勢原市田中 76 番地

TEL 0463-92-3500

<http://www.lib-isehara.jp/>

講師 ^{みわたろう} 三輪太郎氏 (作家・文芸評論家)

1962 年、名古屋市生まれ。早稲田大学第一文学部卒。
文藝春秋で 9 年間、雑誌・書籍編集に携わる。
1990 年、『豊饒の海』あるいは夢の折り返し点で
群像新入文学賞 (評論部門)。
現在、東海大学文学部文芸創作学科准教授。
評論の著作には、『死という鏡』『村上春樹で世界を読む』
など。小説には『あなたの正しさとぼくのセツナ
さ』『大黒島』『憂国者たち』など。